



お茶工場の事務所に行くと、大粒の汗を流した和也さんが出て来てくれた。理由を聞くと「今、近くの茶園の葉の状態をチェックしてたものだから。」と教えてくれた。一つ一つチェックするのですか?と尋ねると「やはり虫がついたりしてないかちゃんと成長しているかは自分の目で確かめないと!」とお茶と真剣に向き合う和也さんらしい答えが返ってきた。

実は和也さん、工業系の大学院を卒業しており学生時代はお茶農家になるイメージは全くなかったという。しかし、就職を考えるようになってから実家の茶園を継ぐのが当たり前のような感覚を覚え、卒業と同時に自ら家業を手伝い始めたという。そしてお茶農家になって7年目の今、『大根占ふかみ会』という地元でお茶作りをしている若手8人で作った会などで手揉み実

From young people in the future

錦江に生きる

◎このコーナーでは、町内でこれから根を張っていくと頑張っている若者を中心に紹介していきます。第37回目は、鳥浜自治会の今村和也さんです。

◎37人目

いまむら かずや
今村 和也さん【鳥浜自治会】



茶の葉の状態を入念にチェックする和也さん

演などを行い、お茶の促進を図っている。また、和也さんは『鹿児島県茶業青年の会』という県内の若手生産者270人をまとめる会長を務めている。和也さんの目標を尋ねると、「青年の集いという全国大会を成功させることです。」と力強く話した。実は和也さん全国の若手生産者の会でも副団長を務めているとのこと「闘茶会(効

き茶)などあるので裏方に徹して是非とも成功させたいです。」と自分に言い聞かせるように何度もうなずいた。そして、「お祖父さん、親父と作ってきたお茶のイメージを崩さないようしながら、改植も含めて、もっと良いお茶を作っていきたいです。」と話した。いろいろな役を背負いながらお茶を作るのは正直しんどくないですか?と尋ねると、

「精神的・肉体的にかなり無理をする時もありますけど、より良いお茶を作り、より良いお茶を広めていくためにはこれくらいどうってことないです。」とさりと話した。続けて「最近、娘が生まれたので余計に力が入る部分もあります。父ちゃん頑張ってるぞーみたいな感じで」と目じりを下げた。和也さんのパワーの源は家族だと確信した。和也さんの趣味はゴルフとソフトボール。ゴルフの方の腕前を尋ねると『ベストスコアは※〒×Φ井・・』目下、猛練習中とのことだった。お茶づくりの様にはいかないらしい。

最後に一言お願いすると「緑茶を日本茶として世界中で親しまれる飲み物にするのが夢です。だからまずは、日本の人にお茶を飲んでもらいたい、お茶に親しんでもらいたい、お茶に興味を持ってもらいたい。これからも日本茶をよろしくお願います。」と力強く訴えた。和也さんは、何事にも熱い情熱を持った好青年だった。

編集後記

●集中豪雨・しとしと雨。最近はずれ間を見た記憶もないくらい優れない天気が続いています。もちろん山などの地盤は大量の水を含み、川などの水量は多く流れが速くなっています。災害が起きないことが一番ですが、災害に巻き込まれないよう十分に注意しましょう。

●丸刈り頭をやめてから約半年経ちました。久しぶりに会う方の中には一瞬気が付かない方もいらつしやり、「イメチェン成功か!？」との喜びもつかの間。「坊頭の方がよかど!」と言われる今日この頃。意地でも坊頭にしない誓いを立てました。なぜなら、坊頭にしたらしたで、「また、坊頭にしたらや!」と言われるのが目に見えているので…。

●今月号が皆さんのお手元に届く頃、「参議院選挙」が行われます。今回の選挙がどのような形であれ、私たち国民の声は反映されたのでしょうか。国民の声は届いたのでしょうか。選挙の一票からでは、目に見えないのかもしれない。しかし、見えない国民の声に気が付き、耳を傾けてほしいと感じるのは私だけでしょうか。



発行/錦江町役場

■編集/企画課 〒893-2392 鹿児島県肝属郡錦江町城元963番地 tel.0994-22-3032 fax.0994-22-1951

■ホームページ/ <http://www.town.kinko.lg.jp/> ■印刷/ (有)南大陽新生社印刷

